



当期の事業活動について

第115期 第2四半期 (中間期) 決算を終えて

平成28年3月1日から平成28年8月31日まで

特集

進化する「モーラス[®]」シリーズ

医療用分野で活躍する
経皮鎮痛消炎剤

トピックス

医療用と一般用の国内開発成果

HP-3060 (経皮吸収型アレルギー性鼻炎治療剤)
本年度中の製造販売承認申請を目指す

シップ剤に対する不満「はがれやすさ」を改善した
「のびのび[®]サロンシップ[®]F」を新発売

医療用と一般用の国内開発成果

医療用医薬品

HP-3060 (経皮吸収型アレルギー性鼻炎治療剤) 本年度中の製造販売承認申請を目指す

開 発中の経皮吸収型アレルギー性鼻炎治療剤「HP-3060」は、国内第Ⅲ相比較臨床試験の結果、その有効性が確認され、安全性に関する重篤な有害事象は認められませんでした。当社はこの結果を受け、平成28年度中に本剤の製造販売承認申請を目指します。

本剤は、TDDS (経皮薬物送達システム) 技術を用いた全身性のテープ剤で、安定した血中薬物濃度を維持し、効果の持続に優れています。今後、アレルギー性鼻炎治療剤の新たな選択肢となることが期待されます。

一般用医薬品

シップ剤に対する不満 「はがれやすさ」を改善した 「のびのび®サロンシップ®F」を新発売

今 年4月に発売した経皮鎮痛消炎シップ剤「のびのび®サロンシップ®F」は、シップ剤に対する不満として多くのお客様が挙げられる「はがれやすさ」を改善した商品です。初期粘度の高さに加え、処方特性により強い粘着力を持続し、四隅が丸い薄型タイプにすることで、衣服との摺れによる「はがれ」も軽減しています。

当社は、「のびのび®サロンシップ®F」の広告活動を積極展開するとともに、引き続き効きめや使用感を大切に商品開発を進めてまいります。

CONTENTS

- P1 トピックス
- P2 第115期第2四半期決算のご報告
- P3 特集
- P5 スポーツイベント
- P6 連結第2四半期決算ハイライト
- P7 連結財務諸表 (要約)
- P9 会社の概況/株式情報
- P10 インフォメーション

■ 報告書の記述についての注意事項

この当期の事業活動についての業績予想に関する記述及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて、現時点で合理的であると判断したものです。従って、実際の業績は、さまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。実際の業績に影響を与える要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場の動向、為替相場の変動、法律及び規制、製品の開発状況などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。また報告書に医薬品(開発品を含む)に関する情報が含まれていますが、これらは宣伝・広告するものではありません。

第115期第2四半期決算のご報告

株主の皆様には、平素より格別のご愛顧とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第115期第2四半期(平成28年3月1日～平成28年8月31日)の営業概況と決算についてご報告いたします。

国内市場を振り返ると、医療用医薬品事業は、平成27年12月に新発売した「モーラス®パップXR120mg」が好調に推移したものの、薬価改定および診療報酬改定の影響を受けたため、減収となりました。一般用医薬品事業は、主力商品「サロンパス®」の伸長に加え、平成28年4月に新発売した「フェイタス®Zαジクサス®」と「のびのび®サロンシップ®F」の好調も寄与し、増収となりました。

一方、海外市場において、医療用医薬品事業・一般用医薬品事業は、円高の影響を受け、また、米国の医療用医薬品事業では、後発品との競争が激化したことも響き、減収となりました。

以上の結果、当第2四半期の連結業績は、売上高744億4千7百万円(前年同期比9.7%減)、営業利益128億7千5百万円(同11.3%減)、経常利益125億5千4百万円(同14.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益92億8千6百万円(同1.0%減)となりました。販売費及び一般管理費が減少したことなどにより、利益面においては、期初の予想数値を上回る実績を上げることができました。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長
最高経営責任者 (CEO)
中富 博隆

代表取締役社長
最高執行責任者 (COO)
中富 一榮

進化する「モーラス®」シリーズ 医療用分野で活躍する経皮鎮痛消炎剤

久光製薬が追求するTDDS（経皮薬物送達システム）技術を用いた治療文化は、「貼って治す」新たな商品を提供し続けています。

経皮鎮痛消炎剤

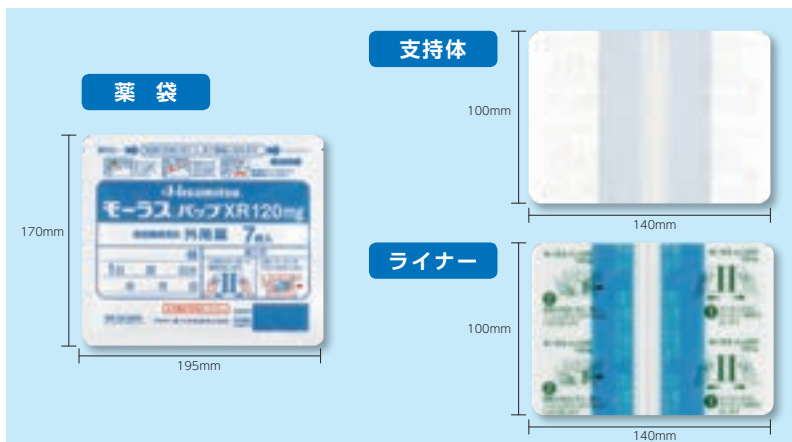
「モーラス®パップXR120mg」

当社は、医療用医薬品の新商品として、経皮鎮痛消炎剤「モーラス®パップXR120mg」を平成27年12月に発売しました。

本剤は、従来のパップ剤にはなかった「腰痛症」の効能・効果を有し、また、従来のパップ剤と比べ*付着性に優れた特長をもっています。1日1回患部に貼付することで効果を発揮しますので、1日2回患部に貼付する従来のパップ剤と比べ*患者さんの使い勝手や環境に配慮した製剤です。

本剤が加わることで、より多くの患者さんの疼痛緩和治療に貢献できるものと考えています。

* 当社比



「モーラス®パップXR120mg」について

本剤は、「腰痛症」の鎮痛消炎や「関節リウマチ」における関節局所の鎮痛など9つの効能・効果を有する製剤であり、当社のTDDS（Transdermal Drug Delivery System：経皮薬物送達システム）技術を用いて、1日1回患部に貼付するパップ剤として開発した経皮鎮痛消炎剤です。

「モーラス®」シリーズの歩み

1988年
発売

「モーラス®」
カオリン（白色粘土）を使った湿布剤を改良し、使用感に優れたパップ剤として発売。



1995年
発売

「モーラス®テープ」
「変形性関節症」や「肩関節周囲炎」の他、初めて「腰痛症」を効能・効果として承認取得。



2002年
発売

「モーラス®テープL」
肩や腰の広い罹患部位への投与ニーズに応え、従来品の2倍の面積を有するテープ剤を開発。

2015年
発売

「モーラス®パップXR120mg」
医療上のニーズが高かった「腰痛症」への効能・効果を有するパップ剤として開発。

平成28年度文部科学大臣表彰 科学技術賞を受賞

平成28年4月、当社は「皮膚吸収性に優れた消炎鎮痛貼付剤の開発」で、本年度の文部科学大臣表彰において「科学技術賞」（開発部門）を受賞しました。本開発の実施品である「モーラス®テープ」が「腰痛症」と「関節リウマチにおける関節局所」の鎮痛の適応症を持つ経皮鎮痛消炎剤として承認されたことなどが高く評価されました。



「モーラス®」シリーズ 製品ごとの違い

パップ剤とテープ剤の違いは、前者が含水性の基剤を用い、後者がほとんど水を含まない基剤を用いる点にあります。それぞれ、患者さんの症状などによって使い分けられています。当社は、「腰痛症」にも効果を発揮する1日1回貼付のテープ剤として「モーラス®テープ」を開発しました。その後、医療上のニーズに応え、「モーラス®テープ」と同一の用法・用量、効能・効果を持つパップ剤として「モーラス®パップXR120mg」を開発しました。

	パップXR	テープ	パップ
7cm×10cm		20mg	
10cm×14cm	120mg	L40mg	30mg
14cm×20cm			60mg
用法・用量	1日1回患部に貼付		1日2回患部に貼付
効能・効果	○下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎 腰痛症（筋・筋膜性腰痛症、変形性脊椎症、椎間板症、腰椎捻挫） 変形性関節症 肩関節周囲炎 腱・腱鞘炎 腱周囲炎 上腕骨上顆炎（テニス肘等） 筋肉痛 外傷後の腫脹・疼痛 ○関節リウマチにおける関節局所の鎮痛		○下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎 変形性関節症 肩関節周囲炎 腱・腱鞘炎 腱周囲炎 上腕骨上顆炎（テニス肘等） 筋肉痛 外傷後の腫脹・疼痛

V・プレミアリーグ 2年ぶり

快進撃が続く久光製薬スプリングス

5回目の優勝!



決勝では日立リヴァーレを セットカウント3-1で撃破

久光製薬スプリングスは、「2015/16V・プレミアリーグ女子」において2年ぶりに王座を奪還、5回目の優勝を果たしました。

惜しくも準優勝に甘んじた昨季の悔しさを胸に、リベンジに挑んだこの1年間。ファイナル6での苦戦を乗り越え、辿りついた3月12日の優勝決定戦で日立リヴァーレと対戦。第1セットを先取されたものの一気に巻き返し、セットカウント3-1で日立リヴァーレを下しました。

個人賞は、中田久美監督が優勝監督賞の栄誉を受け、長岡望悠選手が最高殊勲選手賞(MVP)およびベスト6賞に輝いた他、岩坂名奈選手が同じくベスト6賞、新鍋理沙選手がサブレシーブ賞とレシーブ賞を受賞しました。



2016/17シーズンも 最強のチームを目指して前進

7月に行われた「2016V・サマーリーグ女子大会」では若手育成を狙い臨んだ結果、第3位にとどまりましたが、久光製薬スプリングスは、引き続き2016/17シーズンも制するべく、一層の飛躍を目指します。今後とも選手たちへの熱い御声援をお願いします。



リオ五輪代表メンバーに3名選出 惜しくも準々決勝で敗退

リオデジャネイロオリンピックでは、久光製薬スプリングスから長岡望悠、石井優希、座安琴希の3選手が代表メンバーに選出。残念ながら準々決勝で敗退となりましたが、長岡選手が得意のスパイクで得点力を発揮するなど、多くの見せ場をつくり世界を沸かせました。



長岡望悠

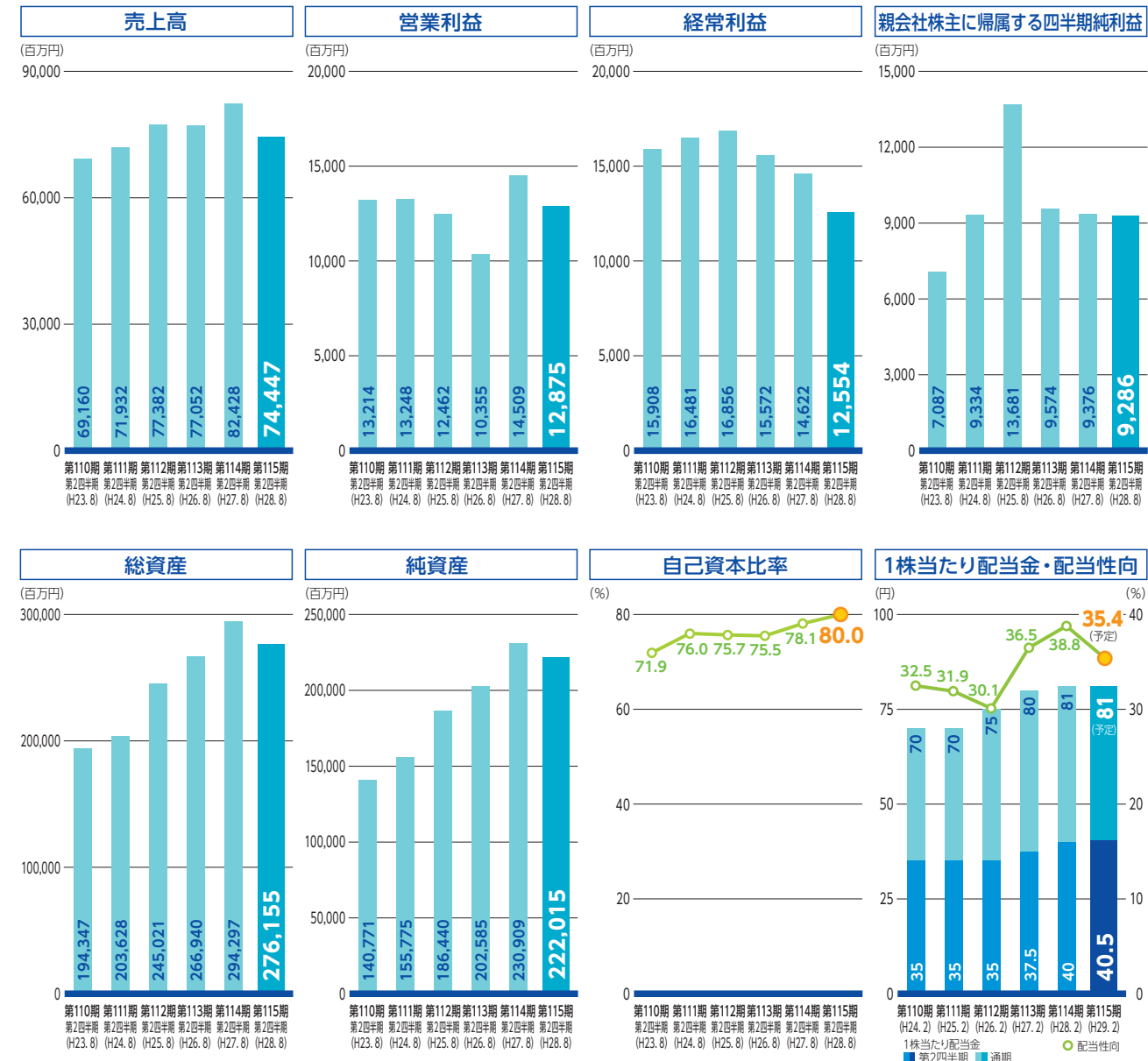


石井優希



座安琴希

連結第2四半期決算ハイライト



連結財務諸表 (要約)

Point 1 資産

当第2四半期末の総資産は、前期末と比較して87億9千9百万円減少し、2,761億5千5百万円となりました。主な増減は、現金及び預金(55億6百万円増)、有価証券(54億4千4百万円減)、受取手形及び売掛金(38億8千2百万円減)及び投資有価証券(37億5千2百万円減)です。

Point 2 負債

当第2四半期末の負債合計は、前期末と比較して47億1千9百万円減少し、541億4千万円となりました。主な増減は、未払法人税等(25億6千6百万円減)及びその他固定負債(18億2千4百万円減)です。

Point 3 純資産

当第2四半期末の純資産合計は、前期末と比較して40億7千9百万円減少し、2,220億1千5百万円となりました。主な増減は、利益剰余金(58億3千9百万円増)及び為替換算調整勘定(79億8千6百万円減)です。

Point 4 売上高・営業利益

当第2四半期までの売上高は前年同期比9.7%減の744億4千7百万円となりました。国内市場において、医療用医薬品事業は「モーラス®パップXR120mg」等の売上が好調に推移しましたが、薬価改定や診療報酬改定による影響を受けたため減収となりました。一般用医薬品事業は主力商品の「サロンパス®」等の売上が好調に推移しました。海外市場において、医療用医薬品事業・一般用医薬品事業は、円高等の影響を受け、減収となりました。営業利益は売上の減少と研究開発費の増加により前年同期比11.3%減の128億7千5百万円となりました。

連結貸借対照表 (単位:百万円)

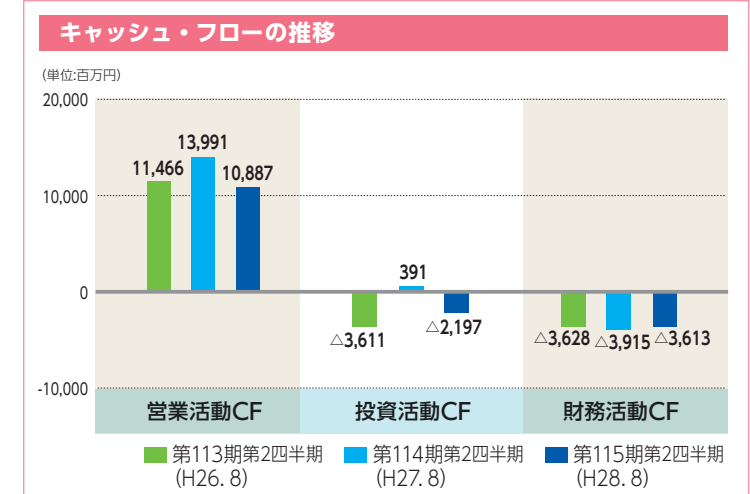
科目	当第2四半期末 (H28.8.31 現在)	前期末 (H28.2.29 現在)
資産の部		
流動資産	171,805	171,760
固定資産	104,350	113,194
有形固定資産	42,376	43,851
無形固定資産	9,610	12,522
投資その他の資産	52,363	56,820
① 資産合計	276,155	284,954
負債の部		
流動負債	37,929	40,997
固定負債	16,210	17,862
② 負債合計	54,140	58,859
純資産の部		
株主資本	207,399	201,561
その他の包括利益累計額	13,442	23,430
新株予約権	158	101
非支配株主持分	1,015	1,000
③ 純資産合計	222,015	226,095
負債純資産合計	276,155	284,954

連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	当第2四半期 (H28.3.1 から H28.8.31 まで)	前第2四半期 (H27.3.1 から H27.8.31 まで)
④ 売上高	74,447	82,428
売上原価	26,193	29,268
売上総利益	48,254	53,159
販売費及び一般管理費	35,378	38,650
④ 営業利益	12,875	14,509
営業外収益	682	592
営業外費用	1,002	478
経常利益	12,554	14,622
特別利益	1,303	1
特別損失	46	24
税金等調整前四半期純利益	13,812	14,599
法人税等	4,421	5,070
四半期純利益	9,391	9,528
非支配株主に帰属する四半期純利益	104	152
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,286	9,376

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	当第2四半期 (H28.3.1 から H28.8.31 まで)	前第2四半期 (H27.3.1 から H27.8.31 まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,887	13,991
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,197	391
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,613	△ 3,915
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4,636	456
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	439	10,923
現金及び現金同等物の期首残高	103,940	88,614
現金及び現金同等物の四半期末残高	104,380	99,538



Point 5 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは108億8千7百万円の収入(前年同期は139億9千1百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益(138億1千2百万円)、法人税等の支払額(63億1千9百万円)などによるものです。

Point 6 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは21億9千7百万円の支出(前年同期は3億9千1百万円の収入)となりました。これは主に、有価証券の取得による支出(18億2千7百万円)、有価証券の売却による収入(24億4千9百万円)、有形固定資産の取得による支出(17億4千4百万円)などによるものです。

Point 7 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは36億1千3百万円の支出(前年同期は39億1千5百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額(34億7千3百万円)などによるものです。

会社の概要

創業 弘化4年(1847年)
 設立 昭和19年5月22日
 資本金 8,473,839,816円
 従業員 2,798名
 事業所

当 社	東京本社	東京都千代田区丸の内二丁目4番1号
	九州本社(本店)	佐賀県鳥栖市田代大官町408番地
支店	札幌支店、仙台支店、東京第一支店、東京第二支店、東京第三支店、名古屋支店、京都支店、大阪第一支店、大阪第二支店、広島支店、高松支店、福岡第一支店、福岡第二支店、台北支店、シンガポール支店、マニラ支店	
	営業所	さいたま営業所、千葉営業所、横浜営業所、金沢営業所
工場	宇都宮工場、鳥栖工場	
研究所	筑波研究所、鳥栖研究所	

子 会 社	国内	株式会社CRCCメディア(福岡県)、 佐賀シティビジョン株式会社(佐賀県)、 株式会社タイヨー(佐賀県)、 九動株式会社(佐賀県)、 久光エージェンシー株式会社(福岡県)
	海外	ヒサミツ ユーエス インコーポレイテッド(米国)、 ヒサミツ アメリカ インコーポレイテッド(米国)、 ノーベン ファーマシューティカルズ(米国)、 ヒサミツ ファルマセウティカド ブラジル リミターダ(ブラジル)、 ヒサミツ ユー ケー リミテッド(英国)、 ヒサミツ ベトナム ファーマシューティカルカンパニーリミテッド(ベトナム)、 久光製薬技術諮詢(北京)有限公司(中国)、 P.T.ヒサミツ ファルマ インドネシア(インドネシア) 他4社

取締役及び監査役 (平成28年8月31日現在)

代表取締役会長 (CEO)	中 富 博 隆	取 締 役	鶴 田 敏 明	常 勤 監 査 役	中 富 舒 行
代表取締役社長 (COO)	中 富 一 榮	取 締 役	高 尾 信 一 郎	常 勤 監 査 役	平 野 宗 彦
専 務 取 締 役	杉 山 耕 介	取 締 役	藤 久 夫	監 査 役	小 野 桂 之 介
常 務 取 締 役	秋 山 哲 雄	取 締 役	堤 信 夫	監 査 役	徳 永 哲 男
常 務 取 締 役	肥 後 成 人	取 締 役	村 山 進 一		
		取 締 役	市 川 伊 三 夫		
		取 締 役	古 川 貞 二 郎		

(注) 取締役 市川伊三夫、古川貞二郎は、社外取締役です。
 (注) 監査役 小野桂之介、徳永哲男は、社外監査役です。

株式の状況

発行可能株式総数 380,000,000株
 発行済株式の総数 95,164,895株
 株主数 5,197名

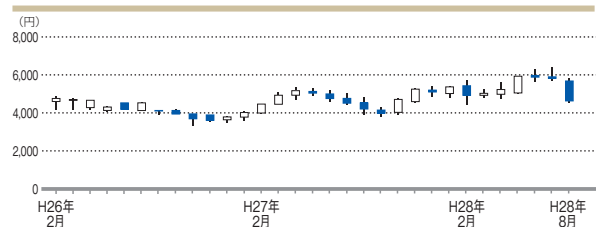
大株主

株主名	持株数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,682
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,449
野村信託銀行株式会社(退職給付信託三菱東京UFJ銀行口)	4,387
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(りそな銀行再信託分・株式会社西日本シティ銀行退職給付信託口)	4,370
日本生命保険相互会社	3,910
株式会社福岡銀行	3,871
株式会社佐賀銀行	2,956

所有者別分布状況



株価の推移



インフォメーション

事業年度 3月1日~翌年2月末日
 定時株主総会 毎年5月に開催
 配当金受領 2月末日
 株主確定日 中間配当金を支払うときは、8月31日
 基準日 定時株主総会の基準日は2月末日とします。そのほか必要があるときは、あらかじめ公告します。

公告方法

電子公告により公告
<http://www.hisamitsu.co.jp/ir/koukoku.html>
 ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 TEL. 0120-232-711 (通話料無料)

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 TEL. 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所

東京・名古屋証券取引所
 各市場第1部及び福岡証券取引所

証券コード

4530

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお問合せ先

久光製薬株式会社 九州本社
 総務部 株式課
 〒841-0017 佐賀県鳥栖市田代大官町408番地
 TEL. 0942-83-2101 FAX. 0942-83-6119

商品に関するお問合せ先

久光製薬株式会社 東京本社
 お客様相談室
フリーダイヤル 0120-133250

受付時間 9:00~12:00
 13:00~17:50 (土日、祝日を除く)

株式に関するお手続きについて

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取(買増)請求 住所・氏名等のご変更 特別口座の残高照会 配当金の受領方法の指定(*) 	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間9:00~17:00 (土日、祝日を除く)
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人 [手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はご選択いただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間9:00~17:00 (土日、祝日を除く)
<ul style="list-style-type: none"> 上記以外のお手続き、ご照会等 	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

ウェブサイト

最新の会社情報を当社ウェブサイトに掲載しております。今後も、株主・投資家の皆様にお役立ていただけるようさらなる工夫を加え、掲載情報のより一層の充実を図ってまいります。



<http://www.hisamitsu.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。





ちょっと大きめ
約1.2倍※

目立ちにくい
ベージュ色

有効成分
約1.6倍※
(サリチル酸メチル)

しなやかで
やさしい

はがれにくい
丸かど®

夢のような、
きもちよさ。



※当社サロンパスAe比



貼って、寝て、
もったきもちいい。

サロンパス®

この日より
5月18日は
サロンパスの日

肩こり・腰痛・筋肉痛に [第3類医薬品]